

インプラント 治療について

(骨の増生：インプラントを埋入するのに必要な骨が不足する場合、骨移植手術を行います)

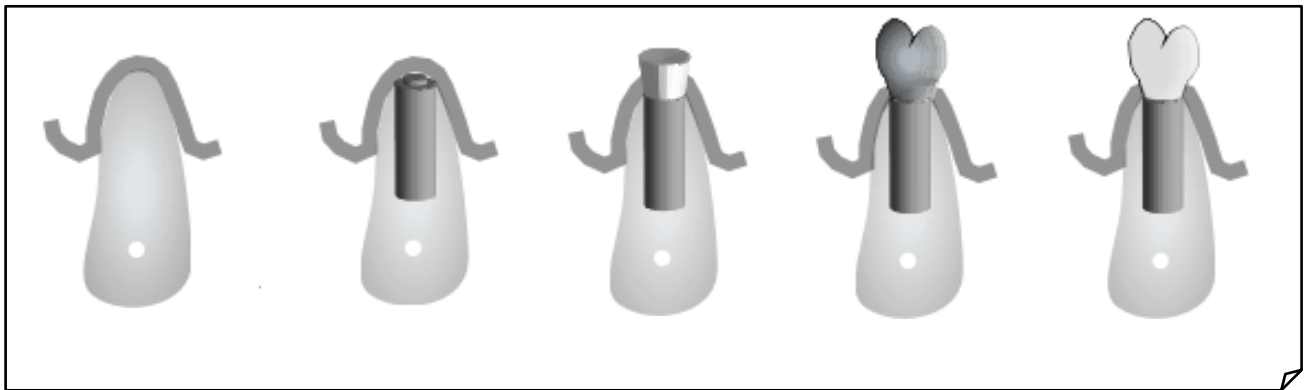
1次手術：歯根に相当する金属（インプラント体）を骨の中に埋入します

2次手術：骨と着いたインプラント体（オッセオインテグレーション）の頭を出す手術をします

プロビジョナル：仮歯をインプラントの土台に装着し、新しい歯に慣れる練習をします

最終補綴：なじんだ歯を最終的な歯に置き換え、インプラントに装着します

メンテナンス：インプラントの状態を確認し、長く使えるようにしていきましょう



一次手術

二次手術

プロビジョナル

最終補綴

治療期間について

1次手術と2次手術の期間（オッセオインテグレーションを待つ期間）

下顎の場合；4ヶ月程度

上顎の場合；6～8ヶ月程度

2次手術から仮歯の型をとるまでの期間；1～2週間

プロビジョナルを入れる期間；1～3ヶ月

*症状によっては期間が異なることがありますのでご了承ください。

インプラントの生着率（オッセオインテグレーション）

下顎の場合；95%程度です

上顎の場合；90%程度です

*100%の生着はありません。状態によってはインプラントの治療を断念しないといけないかもしれません。最終補綴後も自己管理を含めたメンテナンスが十分でなければ、オッセオインテグレーションが失われることがあります。

骨移植 治療について

骨移植とは

インプラントを埋入するのに必要な骨が不足する場合、
①インプラントの埋入に先立ち骨移植手術を行ったり、
②インプラントの埋入と同時に骨移植を行います。
移植する骨は、自分の骨を使用する自家骨や他家骨（バイオオスなど）、自家骨に人工骨補填剤を併用する場合があります。骨の塊をネジで留めたり、細片骨を膜で被ったりして骨の増生を図ります。

手術では、

【下顎枝、オトガイ、頬骨稜、インプラント埋入周囲、その他】から骨を採取し、
顎骨萎縮部位に移植します。



治療の流れ

- *手術は、侵襲度に応じて【1泊2日入院、外来】にて、局所麻酔下に施術します。
- *手術の際、骨の生着や手術部位の治癒の促進に、術中に採血10～40ml程度を行い、濃厚血小板(PRP)を採取し、移植骨と一緒に使用する場合があります。
- *侵襲度に応じて、感染を予防するため抗菌剤の服用を行い、経過をみます。

治療期間について

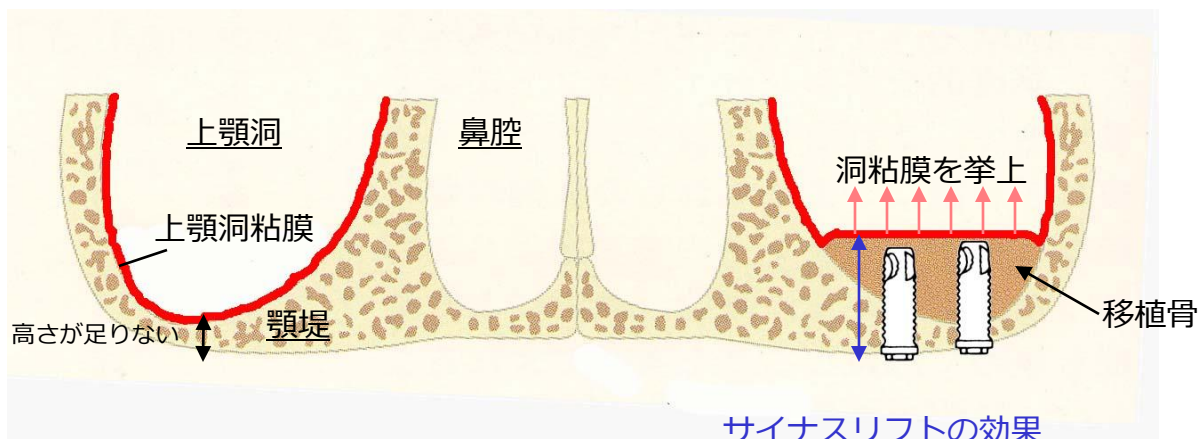
- 移植骨は、約4～6か月で顎骨と生着します。その後に1次手術（インプラント埋入）をします。
- 骨移植と同時にインプラントを埋入した場合、移植後6～7か月後に2次手術を行います。
(症状によっては期間が異なることがありますのでご了承下さい。)

術後の合併症

- *採取部位の疼痛（鎮痛剤の服用で制御）、腫脹（術後およそ1週間で8割方落ち着きます）。
- *移植部にも疼痛・腫脹は生じますが、骨の採取料によっては採取部の方が症状が強く生じます。
- *採取部位によって、【オトガイ部・下唇、眼窩下部】の知覚低下の可能性。
- *オトガイから骨採取した場合、下顎前歯の浮遊感が生じる可能性。
- *術部の後出血
- *術後感染・創離開→移植骨に悪影響→移植骨の除去・再手術の可能性
- *100%の生着はありません。まれに移植した骨が予想以上に吸収してしまい、再移植や他の方法（仮骨延長など）を行ったり、状態によってはインプラントの治療を断念しないといけないかもしれません。
- *喫煙される方は、創離開をおこしやすいなど予後が悪いため骨の生着率が低下します。手術前できたら2か月は禁煙しましょう。

サイナスリフトについて

鼻の横の空洞（上顎洞）が発達しており、歯の植立している骨（顎堤）の高さが少ないため、インプラントが埋入できない場合に行います。



サイナスリフトの効果

インプラントを埋入する骨の高さ・スペースを作り、インプラントの埋入を可能にします。

手術に際しての問題点

- 上顎洞に炎症など病気のある方には適応できない場合があります。
- 事前に耳鼻咽喉科で治療を行って頂く場合があります。
- 上顎洞粘膜は非常に薄いため、粘膜に穿孔があれば一時中止し、穿孔部が治癒してから再度行うこともあります。場合によっては、インプラント治療を断念しないといけないかもしれません。

術後の合併症

- 眼窩下部の疼痛（鎮痛剤の服用で制御）、腫脹（術後およそ1週間で8割方落ち着きます）
- 眼窩下部の知覚低下の可能性（頻度は低いです）
- 術部の後出血、鼻血
- 隣在歯の神経が失活する可能性（術後根管治療の必要性）
- 術後感染、上顎洞炎（予防に抗生剤の服用）
- 創離開

インプラントや移植骨に悪影響
↓
移植骨の除去・再手術の可能性

術後の注意事項

- 鼻をかまないこと、くしゃみをしないこと（術後最低1カ月間）
- その他の注意事項は通常の歯科における外科処置後の説明と同様

平成 年 月 日
説明者；

症 例

主訴； 咀嚼障害 歯科インプラント補綴の希望



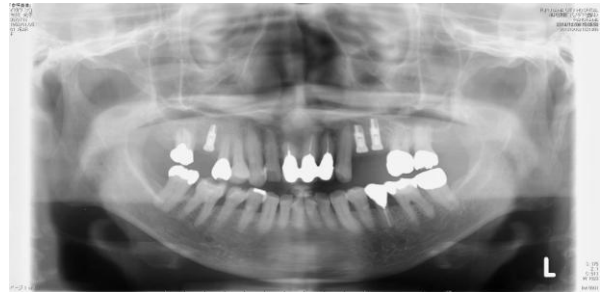
初診時レントゲン写真



左側上顎4、5部に骨移植



インプラント体埋入



最終補綴物装着 (経過観察)